

【基本施策5】「みる」「支える」スポーツの推進

所属名	スポーツ振興課			
事業No.	事業名			
36	【重点事業】トップアスリートを招へいしたスポーツイベントやスポーツ教室の開催			
事業概要	トップアスリートを招へいしたスポーツイベントを実施し、スポーツへの関心やきっかけづくりとする。			
計画目標	拡充	目標に対する評価	C：計画目標を一部達成した	コロナ影響 有
令和4年度 実績	<p>①めぐろスポーツまつり（新型コロナウイルス感染拡大防止のため縮小開催、トップアスリートの参加なし）</p> <p>②2020大会レガシー事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テコンドーデモンストレーション見学及び体験教室（山田美諭さん、鈴木セルヒオさん、鈴木リカルドさん） <p>③指定管理者事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駒場体育館 オリンピアン（競泳 末永雄太さん） ・区民センタースポーツ館 元日本代表選手（ソフトテニス 山口大地さん） ・碑文谷体育館 初心者ジュニア野球教室（元プロ野球選手 一場 靖弘さん） ・中央体育館 B3リーグ「しながわシティーバスケットボールクラブ」によるバスケットボールクリニック ・八雲体育館 トップアスリートふれあい事業（セパタクロー 玉置大嗣さん）、Fリーグ選手によるジュニアフットサル（バルドラール浦和 米川正夫さん） ・宮前庭球場 プロテニス選手によるテニスクリニック（元テニスプレーヤー 吉田友佳さん） 			
評価の理由	<p>①新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業は縮小開催し、トップアスリートの参加は無かった。</p> <p>②トップアスリートを招へいした事業を実施した。</p> <p>③オリンピアン・パラリンピアンをはじめとした各競技のトップアスリートの技術や競技に対する姿勢にふれあう事業を実施することで各競技への興味やきっかけづくりをすることができた。</p>			
課題など	オリンピック競技のみに関わらず、障害者スポーツ競技についてもより一層関心をもってもらえるよう、パラリンピアン等を積極的に招へいし、イベント等の継続した開催について検討する必要がある。			

【基本施策5】「みる」「支える」スポーツの推進

所属名	スポーツ振興課					
事業No.	事業名					
37	スポーツ表彰					
事業概要	スポーツを通じて優秀な成績を収めた区民及び団体を表彰し、その功績を称えることにより、区民にスポーツを奨励する。また出場した大会等の情報をホームページに掲載する。					
計画目標	<table border="1"> <tr> <td>継続</td> <td>目標に対する評価</td> <td>A:計画目標を上回って達成した</td> <td>コロナ影響</td> <td>無</td> </tr> </table>	継続	目標に対する評価	A:計画目標を上回って達成した	コロナ影響	無
継続	目標に対する評価	A:計画目標を上回って達成した	コロナ影響	無		
令和4年度 実績	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピック 個人1人 ・国際大会 個人4人 ・全国大会 個人8人、団体2件 ・関東大会 個人7人、団体3件 ・東京都大会 個人22人、団体7件 <p style="text-align: right;">計54件</p>					
評価の理由	令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止になっていた障害者スポーツ大会が開催されたこともあり、前年度と比較して多くの障害者スポーツの成績を表彰した。 また目黒体育協会や区内私立学校等への照会のほか、区報やSNSで周知を行ったことにより、過去最高の51件の推薦があった。					
課題など	表彰制度のさらなる周知・表彰対象者の情報収集方法など。					

【基本施策5】「みる」「支える」スポーツの推進

		所属名	教育政策課		
事業No.	事業名				
38	児童・生徒表彰				
事業概要	様々な活動の場において優れた活躍のあった児童・生徒を応援するため、表彰を行う。				
計画目標	継続	目標に対する評価	B：計画目標を達成した	コロナ影響	有
令和4年度 実績	個人 スポーツ関連43名				
評価の理由	新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じながら、3年ぶりに表彰式を実施した。 様々な活動の場において優れた活躍のあった児童・生徒を表彰することで、他の児童・生徒を含めて今後の励みとすることことができた。				
課題など	特になし				

【基本施策5】「みる」「支える」スポーツの推進

		所属名	スポーツ振興課	
事業No.	事業名			
39	【重点事業】障害のある人との人がともに行うスポーツ事業の実施			
事業概要	障害のある人との人がともに行うスポーツ活動の機会を提供する。			
計画目標	拡充	目標に対する評価	C：計画目標を一部達成した	コロナ影響 有
令和4年度 実績	<p>【駒場体育館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい広場：3回 36人 ・みんなでダンス：1回 16人 <p>【区民センタースポーツ館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいスポーツフェスティバル（事業は実施したが障害者の参加者はいなかった） <p>【碑文谷体育館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リレーションシップバランスボール 26人 <p>【中央体育館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいスポーツ広場 77人 ・スポーツde障がい者交流会 160人 <p>【八雲体育館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めぐろふれあいフェスティバルdeスポーツ 1日 44人 ・親子で楽しむ！ふれあい体操 6日 10人（5組） <p>【砧野球場・サッカー場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・砧ふれあいスポーツ広場（区内障害者施設主催）（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止） ・砧ふれあいスポーツ教室（区内障害者施設主催）（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止） <p>【碑小学校屋内プール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい水泳教室（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止） 			
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者スポーツ指導員などを中心に、障害のある人との人がふれあえるような教室・講習会及び交流機会等を実施した。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業によっては中止となったが、感染対策を講じながら実施可能な事業については実施した。 			
課題など	参加者が少ない教室などもあるため、実施方法や周知の仕方等について引き続き検討し、スポーツを通じてより多くの人にコミュニケーション機会の場を提供できるよう取り組む必要がある。			

【基本施策5】「みる」「支える」スポーツの推進

		所属名	スポーツ振興課	
事業No.	事業名			
40	トップアスリートを招へいしたスポーツイベントやスポーツ教室の開催 <再掲 事業番号36>			
事業概要	トップアスリートを招へいしたスポーツイベントを実施し、スポーツへの関心やきっかけづくりとする。			
計画目標	拡充	目標に対する評価	C：計画目標を一部達成した	コロナ影響 有
令和4年度 実績	①めぐろスポーツまつり（新型コロナウイルス感染拡大防止のため縮小開催、トップアスリートの参加なし） ②2020大会レガシー事業 ・テコンドーデモンストレーション見学及び体験教室（山田美諭さん、鈴木セルヒオさん、鈴木リカルドさん） ③指定管理者事業 ・駒場体育館 オリンピアン（競泳 末永雄太さん） ・区民センタースポーツ館 元日本代表選手（ソフトテニス 山口大地さん） ・碑文谷体育館 初心者ジュニア野球教室（元プロ野球選手 一場 靖弘さん） ・中央体育館 B3リーグ「しながわシティーバスケットボールクラブ」によるバスケットボールクリニック ・八雲体育館 トップアスリートふれあい事業（セパタクロー 玉置大嗣さん）、Fリーグ選手によるジュニアフットサル（バルドラール浦和 米川正夫さん） ・宮前庭球場 プロテニス選手によるテニスクリニック（元テニスプレーヤー 吉田友佳さん）			
評価の理由	①新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業は縮小開催し、トップアスリートの参加は無かった。 ②トップアスリートを招へいした事業を実施した。 ③オリンピアン・パラリンピアンをはじめとした各競技のトップアスリートの技術や競技に対する姿勢にふれあう事業を実施することで各競技への興味やきっかけづくりをすることができた。			
課題など	オリンピック競技のみに関わらず、障害者スポーツ競技についてもより一層関心をもってもらえるよう、パラリンピアン等を積極的に招へいし、イベント等の継続した開催について検討する必要がある。			

【基本施策5】「みる」「支える」スポーツの推進

所属名	スポーツ振興課			
事業No.	事業名			
41	障がい者スポーツ指導員（初級）取得者の活用			
事業概要	障がい者スポーツ指導員養成講習会修了者を対象に、障がい者スポーツ指導者として活動ができるよう、環境を整備する。			
計画目標	新規	目標に対する評価	C：計画目標を一部達成した	コロナ影響 有
令和4年度 実績	令和4年度目黒区スポーツボランティア登録者数：5名			
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者スポーツ指導員（初級）養成講習会修了者が各施設でスポーツボランティア活動ができるよう、平成28年度から「目黒区スポーツボランティア」制度を導入し、スポーツボランティア登録について案内を行っている。 ・障がい者スポーツ指導員（初級）養成講習会の受講者に登録案内を送付してボランティア登録制度の周知に努めた。 			
課題など	比較的新しい制度ということもあり、現在登録者数が少ない状況である。そのため、障がい者スポーツ指導員養成講習会修了者へのボランティア登録制度の周知に努めることが必要である。また、障がい者スポーツ指導員取得者の活用を図っていくため、指定管理者に対して、ボランティア登録者の積極的な活用について働きかけていくことが必要である。			

【基本施策5】「みる」「支える」スポーツの推進

		所属名	文化・交流課	
事業No.	事業名			
42	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えたボランティアの育成			
事業概要	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を見据えた、目黒区の魅力発信のための研修会や講座等を開催し、ボランティアの育成を図るとともに、活躍できる環境づくりに努める。			
計画目標	新規	目標に対する評価	C：計画目標を一部達成した	コロナ影響 有
令和4年度 実績	①外国人と楽しむ観光まち歩き（目黒区国際交流協会） 参加人数：20名（うち外国人14名） 内容：外国人とボランティアが共に楽しむ観光まち歩きを行った。 ②防災語学ボランティア 登録者数：47名 登録言語数：10言語 内容：地震などの災害が発生したときに、日本語の分からぬ外国人区民等を支援する防災語学ボランティア制度 ③観光ボランティアガイド養成講座（めぐろ観光まちづくり協会） 参加人数：32名 内容：観光ボランティアの役割等の講義、実地研修等 ④観光ボランティアガイドによるまち歩き事業の実施（めぐろ観光まちづくり協会） 参加人数：計49名 内容：団体等からの依頼（2回）においてボランティアガイドを派遣した。			
評価の理由	事業としては、コロナ禍以前に戻っているものの、実施回数等は以前並みには戻っていない。			
課題など	未だ感染症が危惧される中、団体でのまち歩き事業の依頼は多くない。一方で、ボランティアを希望する方は以前よりも増えているため、活動機会の提供について検討する必要がある。			